

生徒、職員、保護者、地域 関係するすべての人が生き生きと輝く学校を目指して

1 基本方針・基本理念 「自主創造」

これからの予測困難な社会をたくましく生き抜き活躍する生徒の育成を目指すため、生徒、教員、保護者、そして学校関係者すべてが、あらゆる教育活動に対して主体的に臨み、創造性また思考力・判断力を存分に生かしながら有効な行動・実践を図り、理念の実現を図る。

2 目指す姿

(1) 目指す学校像

- ・すべての学校関係者が、本校に「誇り、安心、期待」といった気持ちをもつ。
- ・小規模校としての「良さ」を生かした教育活動を実践する。
- ・コミュニティ・スクールとしての運用を軸として、社会に開かれた教育課程を推進しながら地域の中核的機能を果たす。

(2) 目指す生徒像

- ・これからの予測困難な社会の中でたくましく生き抜くための資質・能力が身につく。
- ・自己有用感・自尊感情といった意識を醸成し、将来に見通しをもつことができる。

(3) 目指す教員像

- ・山積する教育課題を解決しながら、教員という仕事に強いやりがいを感じる。併せて、自らの生活を十分に大切にしようとする、適切な「ライフ・ワーク・バランス」をもつ。
- ・柔軟な思考力・判断力、確かな指導力・授業力、まず実践しようとする意欲・態度、広い視野、優れた調整力をもつ。また、他の教員や関係者と「協働」しながら、学校経営に携わろうとする。

3 教育目標及び今年度の重点

・優しい人になろう ・正しい人になろう ・たくましい人になろう

以上の目標において、本校基本方針、並びに日本国憲法、教育基本法、青梅市教育委員会の教育目標の下、青梅市学校教育振興基本計画を十分に踏まえ、本年度は次の重点内容を設定する。

・「振り返る」

体験や経験などにより得た知識・技能を丁寧に振り返りながら確実に自分のものとし、今後の行動・実践に生かすことができる。

・「見通す」

的確な思考・判断により先のことをしっかりと見通し、確固たる自信をもちつつ今後の行動・実践に臨むことができる。

・「やり抜く」

振り返りと見通しを基に決めた行動・実践について、目標達成のためにあきらめずに粘り強く、最後までやり抜くことができる。

4 本年度の学校経営方針の重点

- 「今求められる学力」を定着・伸長させる。特に、①主体的に学習に取り組む態度の醸成、②思考力・判断力・表現力の伸長、③課題発見及び解決のための能力の育成に重点を置き、総合的な学習の時間の充実と「六中授業スタンダード」の実践の徹底を柱とする。
- 総合的な学習の時間における体験的な学習や特別活動等を充実させ、生徒の自主性や意欲を高め自発的な実践等を助長しながら、自尊感情や自己有用感の高揚、リーダーシップやフォロワーシップといった姿勢・態度の育成、人間関係構築力やコミュニケーション能力の伸長を図る。
- インクルーシブ教育やダイバーシティ教育の理念に基づいた他者を受け入れる態度の育成、適切な道徳的判断力や実践力の伸長を目指し、「誰もが過ごしやすい学校」の恒常化を図る。
- 一人一台端末を活用した実践・取組については、実践と検証をくり返し、「『デジタル』と『リアル』の最適な組合せ」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を優先課題としながら、「流行的な指導」から「不易的な指導」へと転化できるようにする。
- 教員の働き方改革については、教員のライフ・エンゲージメントの高揚、ウェルビーイングの向上を目指し、従来の取組の改善を図りながら推進する。また、一人一人が自らのキャリアを見据えながらリカレントやリスキルの視点も取り入れ、研さんする気運を醸成する。
- コミュニティスクールを確実に運用し、地域や外部関係者等との連携、協働等を推進する。

5 補足（学力の定着・伸長について）

主体的に学習に取り組む態度の育成、特に学習に見通しをもって粘り強く取り組む態度の育成を最優先課題とし、以下の実践を徹底する。

- 「六中授業スタンダード」の実践を徹底する。
 - ・すべての学習活動（導入、展開、終末）において、「ねらいに返す」ことに留意する。
 - ・スモールステップによる指導、一人一台端末の活用など、授業のユニバーサルデザイン化を推進する。
 - ・「参加→習得→活用→探究」という学習プロセスを大切にした単元、授業を展開する。特に、交流学習や言語活動を中心に、各単元で一回以上は「活用」また「探究」といった学習活動を設定する。

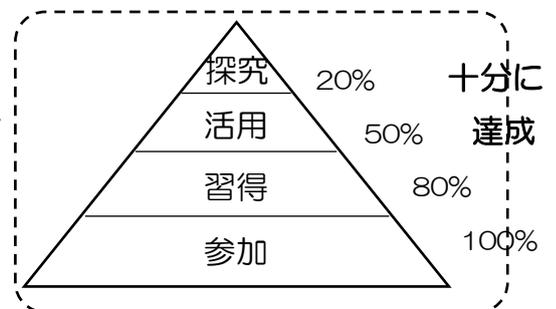
- 「デジタルとリアルの最適な組合せ」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に留意しながら、一人一台端末を効果的に活用する。

- 生徒が、「わかった」「できた」といった達成感や成就感を得られる、工夫した授業を実践する。併せて、生徒の自信や誇りの醸成も図る。

- 学習カードの利用など、自己評価の活用を工夫する。

- 総合的な学習の時間、特にSDGsに係る学習を軸として、課題を発見及び解決する力や探究心や、思考力・判断力・表現力を育成する。

- 学力諸調査等において、選択した項目における平均値が目標値と同等、また上回ることを具体的な目標とする。



6 経営方針を具現化するための取組（案） （★は新規及び重点）

（1）「今求められる学力」の定着・伸長

- ★「六中授業スタンダード」に基づいた実践
- ★「総合的な学習の時間」における教科横断的な学習の実践
- 校内研修の充実、推進
- ★職員の積極的な研修の受講等（都専門性向上研修等）

（2）今後の予測困難な社会で活躍するための資質・能力の育成・醸成

- ★「総合的な学習の時間」における探究的または体験的な学習の実践
- 校外学習（修学旅行、移動教室、職場体験学習を含む）等の体験的な学習の充実
- ★生徒会活動（委員会活動を含む）や学級活動等の特別活動の充実
- 部活動における実践

（3）インクルーシブ教育・ダイバーシティ教育の推進

- ★人権に留意した日常的な取組、実践
- 特別支援教育の理念に基づいた生徒理解の推進（『スクリーニングシート』の利活用等）

（4）一人一台端末の有効な活用

- ★「六中授業スタンダード」に基づいた実践【再掲】
- ・『デジタル』と『リアル』の最適な組合せ
- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を優先課題とした実践
- ・授業のユニバーサルデザイン化
- ★授業以外での利活用の検討、実践

（5）教職員の働き方改革の推進

- 指導体制及び体系の工夫・改善
- ・道徳の授業や給食指導の学年内ローテーション等指導
- 職務内容の精選
- ・★通知表の行動所見の記載回数の変更（第1学年より年度末1回とする。）
- ・★分掌組織の再編成
- 部活動の地域移行の検討、実施
- ★年次有給休暇の計画的な取得の推進
- ・F-M-Day (For Myself Day) 『自身のための積極的な休暇』の取得促進
- ★月2回の定時退勤日の設定
- ★長期休業日の日直勤務の負担軽減（本年度移行期間、次年度本実施）

（6）コミュニティスクールの確実な運用・推進

- ★地域と協働する取組の精査等
- 地域防災訓練への参加等
- ★地域人材等をゲストティーチャーとした講義・講話等の実施
- 地域やPTA主催の行事また会合への参加（年1回を別途）
- 名称の設定、ロゴの作成